

図1-2 MDS(ALSCAL) 2/4

① 事件1~20を
変数ボックスへ

② データが
距離行列を選択
※初期設定

③ 対称形を選択
※今回のデータ
は対称行列

④ モデルを選択

図1-2 MDS(ALSCAL) 3/4

① 順序を選択
※初期設定

② 行列を選択
※初期設定

③ 次元数の選択
最小を1、最大を5
くらいにする。
すると、ストレス値の
落ち方(図1-8)を
見ることができる

④ ユークリッド距離を選択
※初期設定

⑤ 続行を押す
1つ前の窓に戻る

図1-2 MDS(ALSCAL) 4/4

① オプションを押す

② グループプロットに☑

③ 続行で前の窓に戻る

④ OKで分析

次元数を決める

- 今の分析を実行するとストレス値とRSQの値を得る
- プロットの様子から今回は次元数を2と決める
- 次元数が2のときのマップ(図1-2)も出力されている

次元数	ストレス値	RSQ
1	0.2853	0.7872
2	0.0719	0.9771
3	0.0546	0.9837
4	0.0342	0.9925
5	0.0240	0.9958

